

2009 年 4 月の東北地方の天候

【 4 月の特徴 】

- 上旬・中旬の高温、下旬の低温
- 上旬の少雨・多照
- 下旬の多雨

(1) 2009 年 4 月の概況

上旬と中旬は、14 日から 15 日にかけて南岸低気圧の影響により東北南部を中心にまとまった雨となった他は、高気圧におおわれ晴れて気温の高い日が多く、特に上旬は顕著な少雨・多照となった。下旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化したが、25 日から 26 日にかけて日本海低気圧や南岸低気圧の影響で大雨となるなど、降水量は多くなった。また、この時期としては強い寒気が南下したため、それまでの高温から一転して低温となり、積雪を観測したところもあった。

月平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は東北地方で多い。

(2) 各旬の天候経過

上旬：期間の前半は南岸低気圧や気圧の谷が短い周期で通過したが、天気の崩れは小さかった。期間の後半は帯状高気圧におおわれ晴れて気温の高い日が続いた。なお、9 日は山形県で融雪による地すべり害が発生した。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。

中旬：期間の中頃に気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨となったほかは、高気圧におおわれ晴れて気温の高い日が多かった。14 日から 15 日にかけては、低気圧が三陸沖を北上した影響で、東北南部を中心にまとまった雨となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

下旬：この期間、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。25 日から 26 日にかけては、日本海低気圧や南岸低気圧が発達しながら三陸沖を北上した影響で大雨となり、岩手県で山がけ崩れ害などが発生した。また、低気圧の通過後は風が強まり、26 日に福島県で強風による被害が発生した。

なお、この時期としては強い寒気が南下したため低温となった。26 日は、東北北部では平地でも積雪となったところがあり、岩手県で交通障害などが発生した。

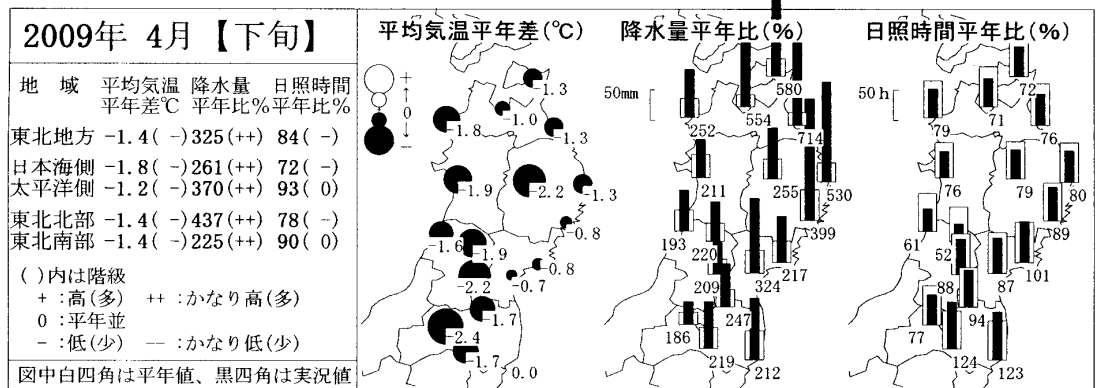
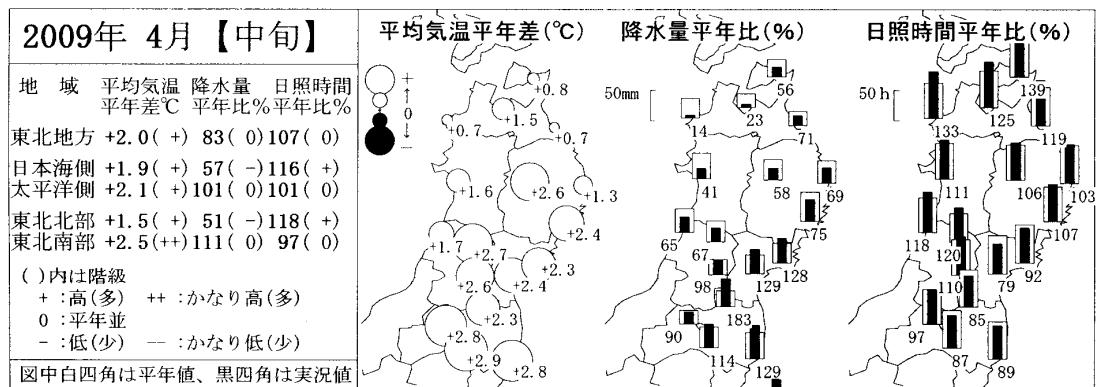
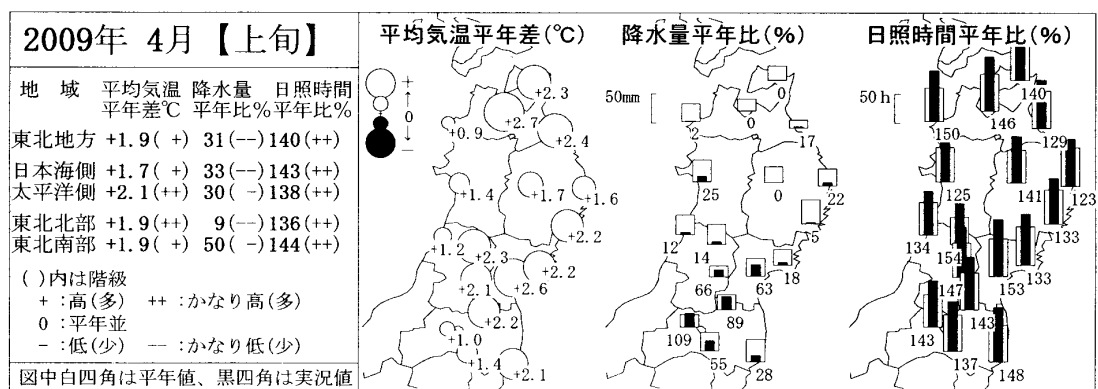
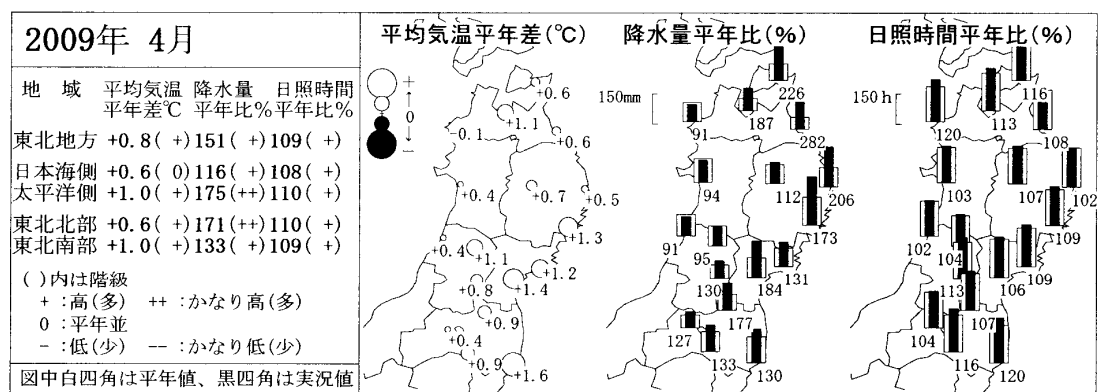
平均気温は東北地方で低い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2009年4月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2009 年 4 月の月気候表

地 点 名		平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
		(℃)	(℃)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
青 森 深 浦 む っ 八 戸	森	9.0	(+1.1)	+	113.5	(187)	+	7	211.2	(113)	+	2	(9)	—	2	(16)	○
	浦	8.2	(−0.1)	○	84.5	(91)	○	7	209.0	(120)	+	—	(3)	—	—	(2)	—
	っ	7.8	(+0.6)	+	183.5	(226)	+	6	224.1	(116)	+	—	(7)	−*	—	(6)	—
	戸	8.9	(+0.6)	+	166.0	(282)	+	6	209.2	(108)	+	1	(6)	○	1	(2)	○
秋 田		9.6	(+0.4)	○	110.0	(94)	○	11	180.9	(103)	○	—	(2)	○	—	(1)	—
盛 岡 大 船 渡 宮 古	岡	9.1	(+0.7)	+	105.5	(112)	○	8	187.6	(107)	+	—	(6)	−*	—	(3)	−*
	渡	10.3	(+1.3)	+	239.0	(173)	+	8	192.6	(109)	+	—	(1)	○	—	(1)	○
	古	9.2	(+0.5)	+	198.0	(206)	+	10	195.3	(102)	○	—	(5)	—	—	(3)	—
仙 台 石 巻	台	11.5	(+1.4)	+	180.5	(184)	+	11	201.7	(106)	+	—	(1)	○	—	(1)	○
	巻	10.4	(+1.2)	+	120.0	(131)	+	10	209.3	(109)	+	—	(1)	○	—	(1)	○
山 形 新 庄 酒 田	形	10.6	(+0.8)	+	88.5	(130)	+	9	204.5	(113)	+	—	(3)	—	—	(2)	—
	庄	9.2	(+1.1)	+	93.0	(95)	○	10	156.6	(104)	○	—	(20)	−*	—	(29)	−*
	田	10.2	(+0.4)	○	96.5	(91)	○	12	177.0	(102)	○	—	(1)	○	—	(0)	—
福 島 若 松 白 河 小 名 浜	島	12.2	(+0.9)	+	141.0	(177)	+	9	201.5	(107)	+	—	(3)	○	—	(2)	○
	松	10.3	(+0.4)	○	80.5	(127)	+	11	182.6	(104)	○	5	(6)	○	5	(3)	+
	河	10.7	(+0.9)	+	133.5	(133)	+	9	213.2	(116)	+	—	(3)	—	—	(2)	○
	浜	12.7	(+1.6)	+	167.0	(130)	+	9	223.2	(120)	+		()			()	

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

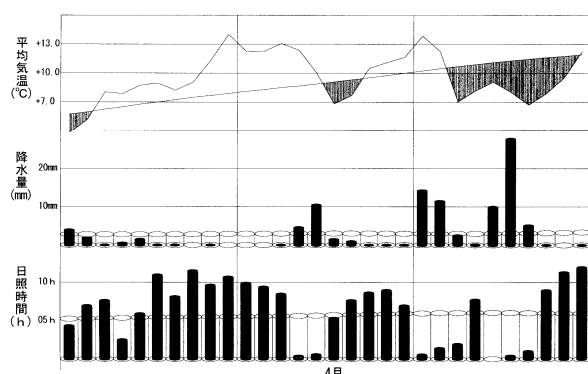
また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に「)」や「]」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。「)」付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが「]」付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

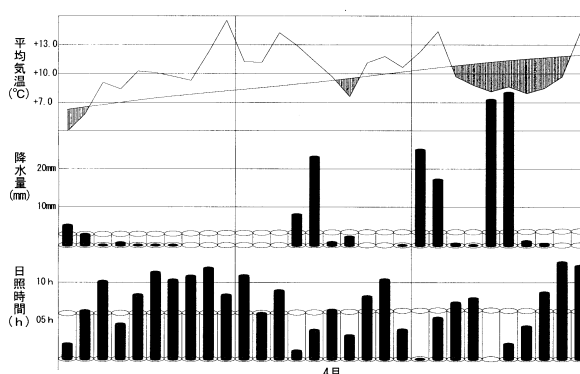
なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

4. 小名浜測候所が平成20年10月1日に特別地域気象観測所へ移行したことに伴い、小名浜の降雪および積雪の観測は終了した。

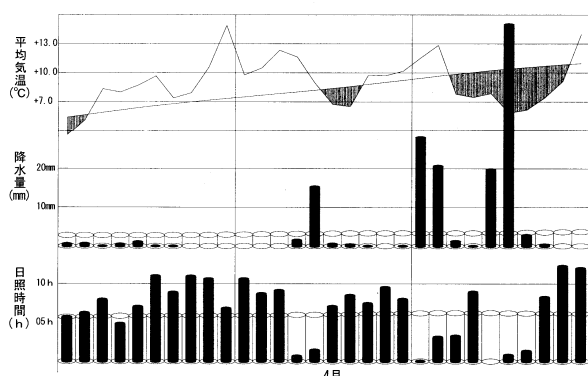
(5) 2009 年 4 月の日別経過図



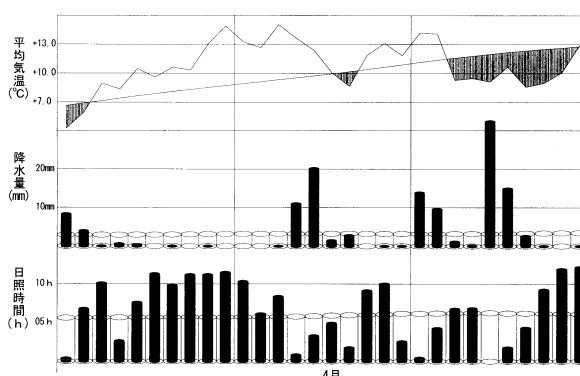
東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図



東北部の日別経過図



東南部の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2009 年 4 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	むつ	183.5	226	215.6 (1964)	1935	81.1
	八戸	166.0	282	168.4 (1964)	1937	58.9

月降水量少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新
3 位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新
3 位以内はなし

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新
3 位以内はなし

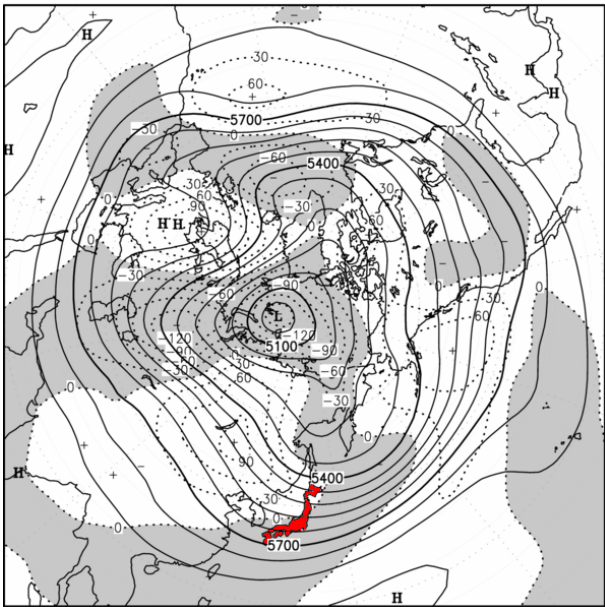
月最深積雪大きい方からの順位更新
3 位以内はなし

(注) 平年値とは 1971～2000 年の 30 年間の値を平均したものである。

(7) 2009 年 4 月の循環場の特徴

バイカル湖の東を中心に顕著な正偏差となり、北日本は正偏差におおわれた。上旬と中旬が高温になったことに対応している。

一方、東シベリアから日本の東海上、日本の南海上にかけて負偏差が広がり、東日本以西は負偏差におおわれた。日本付近に寒気の南下する時期があり、下旬に低温となったことに対応している。



2009 年 4 月の平均 500hPa 高度

実線は等高度線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）

(8) 東北地方の桜の開花状況 2009 年

(統計期間：1953 年～2008 年：平年値は 1971 年～2000 年)

観測地点	開 花 日					満 開 日				
	今年 (2009)	平年値	昨年 (2008)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2009)	平年値	昨年 (2008)	最早/起年	最晩/起年
青 森	4.18	4.26	4.17	4.14/2002	5.11/1984	4.22	5.01	4.21	4.16/2002	5.18/1984
盛 岡	4.13	4.23	4.12	4.11/2002	5.06/1984	4.18	4.27	4.17	4.16/2002	5.09/1984
仙 台	4.07	4.12	4.05	3.29/2002	4.28/1984	4.10	4.18	4.11	4.03/2002	5.03/1984
秋 田	4.14	4.19	4.10	4.07/2002	4.30/1984	4.19	4.24	4.15	4.12/2002	5.08/1965
山 形	4.11	4.17	4.12	4.03/2002	4.29/1984	4.13	4.21	4.16	4.06/2002	5.04/1984
酒 田	4.11	4.16	4.09	4.04/2002	4.27/1984	4.14	4.20	4.13	4.08/2002	5.02/1965
福 島	4.06	4.11	4.06	3.29/2002	4.25/1984	4.09	4.15	4.11	4.02/2002	4.28/1984

開花：標本木が5～6輪開花した状態

満開：標本木全体のつぼみの80%以上が開花した状態